

F-a-5 環境会計

環境保全効果

集計範囲：(株)堀場製作所 本社工場およびセールスオフィス13拠点・研修所、(株)堀場テクノサービス サービスステーション26拠点 対象期間：2012年1月1日～2012年12月31日

環境保全効果				
環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	2011年 (基準期間)	2012年	基準期間との差 (環境保全効果)
事業活動に投入する 資源に関する 環境保全効果	総エネルギー投入量 (GJ)	141,455	139,544	△ 1,911 *1
	電力使用量 (GJ)	112,450	110,333	△ 2,117 *1
	都市ガス使用量 (GJ)	18,968	18,714	△ 254 *1
	燃料 (軽油、灯油、 ガソリン) (GJ)	10,037	10,497	460 *1
	主要生産素材投入量 (t) (鉄、SUS、アルミ、銅、ガラス)	915	886	△ 29
	循環資源投入量 (t) OA用紙、梱包材 (ダンボール、木材、緩衝材)	355	300	△ 55
	水資源投入量 (km ³)	45	47	2
	井水投入量 (km ³)	17	15	△ 2
	市水投入量 (km ³)	28	32	4
	事業活動から 排出する環境負荷 及び廃棄物に関する 環境保全効果	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	6,828	6,765
電気エネルギー使用に よる温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		5,097	5,015	△ 82 *2
都市ガス使用による温室 効果ガス排出量 (t-CO ₂)		1,058	1,046	△ 12 *2
燃料使用による温室効果 ガス排出量 (t-CO ₂)		673	704	31 *2
廃棄物等総発生量 (t)		348	460	112
廃棄物最終埋立量 (t)		1	1	0 *3
総排水量 (km ³)		45	47	2
水質 (BOD、COD) (mg/L)		該当なし	該当なし	-
NOx、SOx 排出量 (t)		該当なし	該当なし	-
悪臭 (最大濃度) (mg/L)		該当なし	該当なし	-

環境保全効果				
環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	2011年 (基準期間)	2012年	基準期間との差 (環境保全効果)
事業活動から 産出する財・ サービスに関する 環境保全効果	使用時のエネルギー 使用量 (GJ) (環境配慮型省エネ 製品対象集計)	54,759	37,901	△ 16,858 *1
	使用時の温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂) (環境配慮型省エネ製品 対象集計)	2,121	1,468	△ 653 *2
	回収された使用済み製品・ 容器の廃棄時の環境負荷 物質排出量 (t)	6	3	△ 3
	回収された使用済み製品、 容器、包装の循環的 使用量 (t)	2	8	6
	製品梱包材使用量 (t)	329	276	△ 53
	その他の 環境保全効果	製品輸送に伴う温室効果 ガス排出量 (t-CO ₂)	138	165
製品輸送量 (t-km)		1,858,294	2,034,761	176,467
汚染土壌面積 (㎡)		0	0	-
騒音 (dB) * 夜間騒音		54	55	1
振動 (dB) * 夕方	40	30 未満	-	

- *1 : GJ (ギガジュール) : 0.00976GJ/kWh (省エネセンター 06.4.1 公示より) で換算・算出
- *2 : CO₂ 排出係数 : 2000 年度全国電力会社の平均値 0.378kgCO₂/kWh を基本に算出、京都地区については関西電力(株)の公表値を使用。
- *3 : (株)堀場製作所 本社工場のみ

環境保全対策に伴う経済効果 単位：(百万円)

環境保全対策に伴う経済効果 (実質的効果)		
効果の内容		金額
収益	生産工程中で発生するハンダくず、端材等の売却金額	2.1
	回収製品再生売却益	87.1
合計		89.2